

活動的通勤質問票(Active Commuting Questionnaire) Full version

【詳細な通勤手段（通勤手段別利用時間）】

Q1. 通勤時間は片道何分かかりますか。合計時間と交通手段毎に要する時間をそれぞれお答えください。使用しない交通手段には、0分と入力してください。

	数値入力	片道あたりの所要時間
通勤合計時間（片道）		分
徒歩		分
自転車（電動アシスト機能なし）		分
自転車（電動アシスト機能付き）		分
オートバイ（原付含む）		分
自家用車・タクシー・ハイヤー		分
バス		分
鉄道・電車		分
その他		分

※数値入力に制限が出来る場合は各項目の入力幅を 0-300(整数)にする。

「オートバイ（原付含む）」または「自家用車・タクシー・ハイヤー」の片道あたりの所要時間が1分以上 ⇒ Q2へ

【活動的通勤(Active commuting)への切替可能性】

Q2. 現在の通勤手段を公共交通機関・徒歩・自転車（原付除く）のみ用いる通勤に切り替えることは、どのくらい可能ですか。

1. 100%（可能）
2. 90%
3. 80%
4. 70%（ある程度可能）
5. 60%
6. 50%
7. 40%
8. 30%（難しい）
9. 20%
10. 10%
11. 0%（不可能）

〈概要〉

本質問票は労働者を対象に**詳細な通勤手段と活動的通勤への切替可能性**を評価するための質問票です。

〈使用方法〉

- Q1.によって不活動通勤者を特定し、Q2.で切替可能性を評価します。
- 切替可能性の評価が不要な場合は、Q1.を単独で使用することも可能です。
- 通勤を通学に変更することで、主な通学手段と活動的通学への切替可能性を評価するために使用することもできます。
- 通勤手段について簡易的に評価をしたい場合は、活動的通勤質問票 (Active Commuting Questionnaire) Brief version の使用が推奨されます。

〈不活動通勤者・切替可能性の評価方法〉

➤ 不活動通勤者：

本質問票では、以下の者を不活動通勤者と判定します。

Q1.において：

「オートバイ（原付含む）」または「自家用車・タクシー・ハイヤー」の片道あたりの所要時間が1分以上

➤ 切替可能性：

カットオフ値を用いて通勤手段を活動的な方法に切り替えることができそうかどうかを2カテゴリー（高い/低い）に分類することも可能です。その場合、Q2.において選択肢1~6（50~100%）を選んだ場合を切替可能性が高いと判定します。

〈本質問票の作成および使用方法に関する論文〉

福西 厚子, 町田 征己, 菊池 宏幸, 小田切 優子, 高宮 朋子, 福島 教照, 天笠 志保, 中谷 友樹, 樋野 公宏, 井上 茂, 身体活動の視点から見た通勤手段の実態と活動的な通勤への切替可能性：地域別の記述疫学研究, 産業衛生学雑誌, 2024, 66 巻, 2 号, p. 90-97.